

『コンピュータ流体解析 (Computational fluid dynamics, CFD) を用いた、脳動脈瘤コイル
塞栓術後の再発に係る因子の検討』
のための医療データ提供のお願い

大阪大学医学部附属病院脳神経外科では、数多くの脳動脈瘤に対するコイル塞栓術を行っております。コイル塞栓術は術後しばらくして再開通し、再治療が必要となることが時折みられます。

現在、当科は大阪大学基礎工学部と共同でコンピュータ流体解析 (Computational fluid dynamics, CFD) を用いた脳動脈瘤の流体力学の研究を行っております。実際に脳動脈瘤の治療を行う患者さんより脳動脈瘤の形態の情報を頂き、コンピュータ上でその動脈瘤内およびその周辺の血流を解析することにより、脳動脈瘤塞栓術後の再開通を低下させる因子を検索しています。

この研究のために 2006 年 4 月 1 日～2015 年 12 月 31 日までの期間に当院で脳動脈瘤塞栓術を受けられた患者さんの周術期情報および術前後、術後フォローアップの脳血管撮影画像を解析に使用します。解析は大阪大学大学院基礎工学研究科で行います。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者さんの個人情報 は固く守られています。また、この研究で使用する画像は個人を特定できる情報は削除して本学基礎工学研究科内でコンピュータ解析に使用されます。患者さん個人を特定できる情報（氏名・住所・電話番号等）は一切記載しません。さらに、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。

ご提供頂いた医療データは研究終了後、主任研究者が厳重に保管し、研究終了 5 年後に廃棄されます。

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください（2018 年 3 月末まで）。

医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院 脳神経外科

中村 元（研究責任者）

浅井 克則（研究担当者）

電話番号 06-6879-5111（大阪大学医学部附属病院）